

令和8年度

「運営に関する計画」

大阪市立大宮中学校

令和8年4月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校では長年にわたり、人権教育を基盤とし、生徒が安心して学べる学校づくりを進めてきた。規範意識の向上や授業規律の定着を大切にし、「学びあい」「支えあい」「認めあい」のできる生徒集団の育成に取り組んでいる。

近年、学校選択制により、他校区への生徒の流出が加速化し、在籍生徒数の減少が続いている。他校区へ就学する生徒は学力上位層が多いと考えられるため、さまざまな学力調査等における平均正答率だけをみると、大阪市平均等と大きな隔たりがみられる。また、学級における学習をリードするモデル的な存在が少なく、協働的学習を充実させることが難しい状況にある。

生活指導面においては、不登校や別室登校の生徒など、個に応じた対応が求められる場面が多くなっている。一人一人へのきめ細やかな対応をするために、家庭との連携はもちろん、関係諸機関とも連携を進めつつ、課題解決へと向かっていきたい。

また、時間を守る、身だしなみを整えるといった、基本的な生活習慣の確立に向けた指導を、生徒が自分たちで考えながら理解し、行動に移せるような方法で行っていかなければならない。

教職員は総じて日常の業務に熱心に取り組んでいる。一人一人の持ち味を生かすことができるチーム作りを進めるとともに、さらなる指導力向上をめざした研究・研修に取り組むことが必要である。

本校にはおおらかで人なつっこい生徒が多い。生徒が活躍できる場面、「できた」「わかった」と感じられる場面をたくさん作り、達成感を味わい、自信をつけさせていく教育活動を推進し、社会的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度の育成をめざしたい。

中期目標**【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】**

- 年度目標アンケートにおける「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を75%以上にする。 **R7学調：68.5%**
- 年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。
R7：3.8% (12月末現在)
- 年度目標アンケートにおける「キャリア学習を通して、自分の将来について考えることができた」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を80%以上にする。
R7(夢や目標を持っていますか)：71.1%

【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント増加させる。
R7：3年：国語0.96、数学0.89 2年：国語0.88、数学0.75
1年：国語0.95、数学0.85

- 年度末の年度目標アンケートにおける「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 85%以上にする。 **R7：未実施**
- 年度末の校内調査における「規則正しい生活が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 85%以上にする。 **R7：未実施**

【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】

- 年度目標アンケートにおける「学習者用端末を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めていますか」に対して、肯定的に回答をする生徒の割合を 80%以上にする。 **R7：未実施**
- 教員の1か月の平均時間外勤務時間を月 30 時間以下とする。

R7：35 時間 06 分

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】

- 年度目標アンケートにおける「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 70%以上にする。 **R7 学調：68.5%**
- 年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。
R7：3.8% (12 月末現在)
- 年度目標アンケートにおける「キャリア学習を通して、自分の将来について考えることができた」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 75%以上にする。

R7 (夢や目標を持っていますか)：71.1%

【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント増加させる。

R7：3年：国語 0.96、数学 0.89 2年：国語 0.88、数学 0.75

1年：国語 0.95、数学 0.85

- 年度目標アンケートにおける「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 85%以上にする。 **R7：未実施**
- 年度末の校内調査における「規則正しい生活が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 85%以上にする。 **R7：未実施**

【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】

- 年度目標アンケートにおける「学習者用端末を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めていますか」に対して、肯定的に回答をする生徒の割合を 80%以上にする。 **R7：未実施**
- 教員の1か月の平均時間外勤務時間を前年度以下に改善する。

R7：35 時間 06 分

3 本年度の自己評価結果の総括

--

大阪市立大宮中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 年度目標アンケートにおける「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を70%以上にする。 R7学調: 68.5% ○ 年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。 R7: 3.8% (12月末現在) ○ 年度目標アンケートにおける「キャリア学習を通して、自分の将来について考えることができた」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を75%以上にする。 R7(夢や目標を持っていますか): 71.1% 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の充実】</p> <p>いじめ・不登校等への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭と連携して生徒理解を進め、生徒・保護者が安心できる学習環境を整える。 ○ 家庭や関係諸機関との連携を充実させる。 ○ コネクトルームを、生徒が安心できる居場所としての活用することを前提としつつ、学級で過ごせるようにするためにも段階的に活用する。 <hr/> <p>指標 校内調査において「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、肯定的回答をする生徒の割合を100%にする。 R7: 83.8%</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>人権を尊重する教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学年ごとに主となる学習内容を設定し、平和教育、その他の人権課題を3つの柱とし、3年間を通じた人権教育の充実に努める。 ○ 各学年での学習とともに、年3回の人権集会、自主活動、また日常の授業において人権感覚の育成を図る。 ○ 人権学習の教材を共有し、精選に努める。 <hr/> <p>指標 校内調査における「生命や人権を尊重する意識を育てる取り組みがある」に対して、肯定的回答をする生徒の割合を前年度以上にする。 R7: 97.1%</p>	

<p>取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>自主的・自発的な活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒議会や専門委員会、部活動の部長会議など、生徒主体の活動を充実させ、リーダー育成に努める。 ○ クラス、学年、学校行事において、生徒会や生徒専門委員会が活躍する機会をつくる。 ○ すべての生徒が自主性を伸ばせるような教育活動の推進を図る。 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>指標 校内調査における「委員会、係活動に積極的に取り組む」に対して、肯定的回答をする生徒の割合を前年度以上にする。 R7 : 82.1%</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>キャリア教育・進路指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ カリキュラムマネジメントを行い、基礎的・汎用的能力の育成を図る。 ○ 体験的な活動の充実を図り、自己有用感、自己肯定感の育成をめざす。 ○ 自分の将来の生き方への関心を深め、自分の能力・適性等の発見と伸長をめざし、夢や目標をもてる進路選択ができるよう指導を行う。 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>指標 校内調査における「キャリア学習を通して、自分の将来について考えることができた」の項目に対して、肯定的回答をする生徒の割合を前年度以上にする。 R7 : 71.1%</p>	
<p>取組内容⑤【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>道徳教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳の授業において意見交流の充実を図り、生徒一人ひとりの感性や情操を育むことをめざす。 ○ 年間計画に基づいた道徳の授業づくりを進め、指導方法に関する意見交流を盛んにすることで学校全体の指導力の向上をめざす。 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>指標 校内調査における「道徳の授業に積極的に取り組む」に対して、肯定的回答をする生徒の割合を90%以上にする。 R7 : 89.0%</p>	
<p>中期目標及び年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	

次年度への改善点

大阪市立大宮中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○ 中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント増加させる。</p> <p>R7: 3年: 国語 0.96、数学 0.89 2年: 国語 0.88、数学 0.75 1年: 国語 0.95、数学 0.85</p> <p>○ 年度目標アンケートにおける「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 85%以上にする。</p> <p>R7: 未実施</p> <p>○ 年度末の校内調査における「規則正しい生活が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 85%以上にする。 R7: 未実施</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容⑥【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>「主体的・対話的で深い学び」の推進</p> <p>○ ペア学習やグループ学習などの話し合う活動を積極的に行う。</p> <p>○ 相互授業参観を充実させ、指導方法の工夫を進める。</p> <p>○ 思考力・判断力・表現力等の総合的読解力の育成をめざす。</p>	
<p>指標 校内調査における「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができるか」に対して、肯定的回答をする生徒の割合を前年度以上にする。 R7: 80.3%</p>	
<p>取組内容⑦【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <p>自らの健康を管理する能力の形成</p> <p>○ 生徒保健委員会で大宮中学校での健康課題を考え、生活習慣に特化した活動を生徒が主体とした活動で取り組む。</p> <p>○ ほけんだよりを毎月発行し、保健に関する情報の啓発をする。</p>	
<p>指標 校内調査における「規則正しい生活が大切だと思う」に対して、肯定的回答をする生徒の割合を 85%以上にする。 R7: 未実施</p>	

中期目標及び年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

大阪市立大宮中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 年度目標アンケートにおける「学習者用端末を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めていますか」に対して、肯定的に回答をする生徒の割合を80%以上にする。 R7: 未実施 ○ 教員の1か月の平均時間外勤務時間を前年度以下に改善する。 R7: 35時間06分 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容⑧【基本的な方向6 教育DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進】 ICTを活用した教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 毎朝各学級で、朝の学活時に「心の天気」の入力を行うことで、安心して過ごせる教室環境づくりを進める。 ○ ICT機器を活用し、生徒の実態に応じた指導方法の工夫・改善を行い、基礎・基本の定着を図る。 ○ ICTに関する教職員研修を実施し、情報モラルの向上を図る。 	
<p>指標 校内調査における「ICT機器の活用を通じて、基礎・基本の定着と学力向上に向けた取組をしている」に対して、肯定的回答をする教職員の割合を前年度以上にする。 R7: 87.5%</p>	
<p>取組内容⑨【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 働き方改革の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 会議の開催にあたり、事前準備を大切にする。 ○ さまざまな業務や対応が困難な状況にならないように、報告・連絡・相談を効果的に行う。 ○ 見通しをもって校務分掌業務を行うことに努める。 	
<p>指標 教員の1か月の平均時間外勤務時間を前年度より減少させる。 R7: 35時間06分</p>	

<p>取組内容⑩【基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 教員の資質向上、研修の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本校の教育目標の達成および課題解決につながる研修を開催する。 ○ 相互参観期間が活性化するように工夫する。 ○ 校外での研修会等に積極的に参加し、日々の実践に生かす。 	
<p>指標 相互参観期間に 2 回以上参観を行う教員の割合を 100%にする。 R7 : 調査せず</p>	
<p>取組内容⑪【基本的な方向 8 生涯学習の支援】 図書室・読書活動の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校司書と連携し、読書に触れる機会を増やす。 ○ 委員会活動の充実を図り、学級図書の実践や学習活動の充実をめざす。 ○ 掲示物を充実させ、図書室利用者の増加をめざす。 	
<p>指標 図書室における 1 人当たりの貸出冊数を、前年度より増加させる。 R7 : 0.3 冊</p>	
<p>取組内容⑫【基本的な方向 9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】 家庭・地域と連携した教育活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校ホームページによる情報発信を充実させる。 ○ 学校から発信する各種の通信物をミマモルメにより配信する。 ○ 地域や P T A と連携を大切にし、教育活動の充実を図る。 	
<p>指標 校内調査における「学校行事などの具体的な活動をわかりやすく伝えている」に対して、肯定的回答をする保護者の割合を前年度以上とする。 R7 : 90.7%</p>	
<p>中期目標及び年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	